

## みずほCustomer Desk Report 2019/11/26号(As of 2019/11/25)

## 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示仲値	108.81
TKY 9:00AM	108.70	1.1022	119.83	1.2849	0.6789		
SYD-NY High	108.98	1.1032	120.10	1.2913	0.6799		
SYD-NY Low	108.69	1.1004	119.79	1.2841	0.6768		
NY 5:00 PM	108.91	1.1012	119.94	1.2898	0.6777		
NY DOW	28,066.47	190.85	日本2年債	-0.190	0.00bp		
NASDAQ	8,632.49	112.60	日本10年債	-0.090	0.00bp		
S&P	3,133.64	23.35	米国2年債	1.6103	▲1.44bp		
日経平均	23,292.81	179.93	米国5年債	1.6067	▲1.66bp		
TOPIX	1,702.96	11.62	米国10年債	1.7509	▲1.89bp		
シカゴ・日経先物	23,435.00	265.00	独10年債	-0.3510	0.95bp		
ロンドンFT	7,396.29	69.48	英10年債	0.6945	▲0.95bp		
DAX	13,246.45	82.57	豪10年債	1.0780	▲2.50bp		
ハンセン指数	26,993.04	397.96	USDJPY 1M Vol	5.04	▲0.19%		
上海総合	2,906.17	20.88	USDJPY 3M Vol	5.55	▲0.16%		
NY金	1,456.90	▲6.70	USDJPY 6M Vol	6.13	▲0.16%		
WTI	58.01	0.24	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over		
CRB指数	180.57	0.20	EURJPY 3M Vol	6.02	▲0.21%		
ドルインデックス	98.32	0.05	EURJPY 6M Vol	6.48	▲0.18%		

東京	東京時間のドル円は108.70レベルでオープン。週末に米中通商協議で争点になっている大きな問題である知的財産権の侵害について、罰則を強化することを発表したことから、リスクメントは改善。先週末対比プラス圏にて推移する株式市場を横目に、ドル円も108円台後半での小確りとした推移。終盤にかけて日経平均株価が上げ幅を拡大する動きにサポートされ、ドル円も連れ高となると、108.88レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.88レベルでオープン。目立ったフローも見られず108.82-108.90の非常に狭いレンジ内での推移となつた後、108.87レベルでNYに渡った。ボンドルは、1.2849レベルでオープン。特筆すべき材料はなかったものの、英紛争の両党のマフェストが出版された上で依然として保守党が世論調査でリードを保っていることなどが好感され、ボンド買戻し優勢となり、1.2885まで上昇。その後は高値で揉み合い、1.2873レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	108.87レベルでNYオープン。朝方は一旦108.95まで上昇するが、109円付近では売り意欲が強く、ユーロドルが買われる動きもあり、108.82まで反落する。しかし、株式市場が上昇する中、円売りにサポートされ、108.96まで戻す。午後は狭いレンジでの推移が続くが、株式市場が史上最高値に迫る中、109円手前まで上昇し、108.91レベルでクローズした。一方、独11月IFOが期待指数はやや予想を下回ったものの、現況指数が予想と一致し、景気の底打ちは兆しとの見方が強まるものの、米中通商協議を期待するドル買いに、海外市場のユーロドルは一時1.1010まで下落し、1.1013レベルでNYオープン。朝方は、海外市場の動きを引き継ぎ、1.1004まで下落する。このレベルではユーロ買戻し意欲もあり、1.1025まで戻すものの、ドル買戻しが継続したことからユーロドルは上値を重くし、1.1004まで反落する。終盤に掛けては、方向感のない推移が続き、1.1012レベルでクローズした。

## 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月25日	18:00	独 IFO企業景況感指数	11月 95.0%	95.0%
	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	10月 -0.71	-0.2

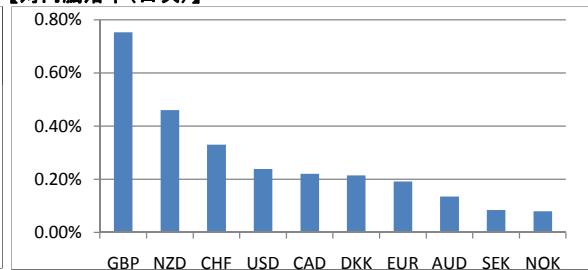
## 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月26日	09:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	17:15	欧 クーレECB専務理事 講演	-	-
11月27日	00:00	米 新築住宅販売件数	10月 705k	701k
	00:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	11月 127	125.9
	03:00	米 ブレイナードFRB理事 講演	-	-

## 【ドル円相場】



## 【対円騰落率(日次)】



## 【マーケット・インプレッション】示された民意の行方は。

デモ隊と治安維持部隊の衝突が多数発生し、多数の逮捕者、けが人を出した香港情勢。24日に行われた選挙前の数日間が比較的平穏だったことは、有権者が選挙意見表明の機会ととらえていたことを示しているとの論調が見られ、香港区議会選挙についても大きな混乱なく行われた。香港区の議会選挙では、投票率が71%超と過去最高となり、市民の関心の高さを裏付けた。選挙の結果は、地元メディアの報道によれば452議席のうち、民主派が85%近い390議席を獲得。親中派の約60議席を大きく引き離し民主派が圧倒的な勝利を収めている。

この先の未来には何が待ち受けているのか。香港の民意は、香港区議会選挙を通して民主的な政治体制への要求に対する強い意思を示した。また、大規模デモを主催する民主派団体も抗議継続の方針を表明している。他方、中国側は、「暴力と混乱を制する」というのが香港での最優先事項だと述べ、香港当局は引き続き抗議活動を厳しく取り締まるとの立場を示した。また「香港は中国の香港である、香港の問題は中国国内の問題である。米国は中国と平等に相互尊重のもとに協議できることを望む(中国外務省)」としており、米国の干渉に対してけん制の意を示している。また、米国は従来より、米国側(CIA)が民主活動家への支援を行っているとの憶測もまことしやかに語られている。また、香港人権法案に対するトランプ氏の行動をみると、米中通商協議を優位に進めるための政治的カードとされている側面もある。23日には、香港や台湾で中国のスパイ活動に従事した男性が、中国による他国への政治干渉に関する詳細な情報をオーストラリアの情報機関に提供し同国への亡命を希望しているとの報道も確認されている。香港市民、中国・米国両政府の思惑が絡む情勢の読みにくい地合いが続くものと思われる。米中通商協議同様、動向には注意が必要だ。(ウエノ)

## ■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ペア	ペア	ブル	ブル	ペア	ブル	ペア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ブル	ブル	ペア	ペア

ブル  
ペア  
11 9